

8月定例記者会見の概要

1. 日 時 平成30年8月6日(月) 9時30分～9時55分

2. 場 所 本庁舎3階 第一会議室

3. 出席者 <報道機関>

NHK南相馬報道室 (南相馬記者クラブ会員)

共同通信社 福島支局 (南相馬記者クラブ会員)

毎日新聞社南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)

福島民報社南相馬支社 (南相馬記者クラブ会員)

福島民友新聞社相双支社 (南相馬記者クラブ会員)

みなみそうまチャンネル

計 6 社

< 市側 >

市長 林副市長 松浦副市長 教育長

総務部長 復興企画部長 市民生活部長

健康福祉部長 健康福祉部理事 経済部長 建設部長

総合病院事務部長 小高病院事務部長

小高区役所長 鹿島区役所長 教育委員会事務局長

計 16 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報係

【市政報告】

先の、西日本豪雨災害でお亡くなりになられた方々へ、謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された皆様へ、心よりお見舞いを申し上げます。

本市では、東日本大震災後の平成24年6月から平成28年3月までの期間、岡山県倉敷市より延べ11人の職員の派遣をいただきました。このことから、今回の西日本豪雨災害に対し、本市から岡山県倉敷市へ、応援職員の派遣を行うこととしました。

第一陣は、7月19日(木)から25日(水)までの7日間、市職員4人を派遣し、被害状況の実態を現地で確認するとともに、ボランティアの受け付け業務等の活動を行ってきました。第一陣が派遣された週は、猛烈な暑さであったとの報告を受けました。

今後も8月27日(月)までの予定で、延べ11人の職員を、入れ替えを行いながら派遣を続けて参ります。

また、本市では、市役所や各区役所などに7月11(正しくは10)日から義援金の募金箱を設置しています。

市民の皆様等から寄せられた浄財は、これまで150万円を超え、市民の皆さんの強い思いを感じました。

なお、お寄せいただいた義援金は、全て日本赤十字へ送金しました。今後、各被災地へ配分されることとなります。

相双地方最大の祭典、相馬野馬追が、7月28日(土)から30日(月)まで開催され、平成30年度の全ての行事を執行することができました。

台風12号が、相馬野馬追にも影響を及ぼすことを想定し、備えを進めて参りましたが、幸い相馬野馬追の執行に大きな影響を与えることはありませんでした。

相馬野馬追の期間中は、雨が降ったり止んだりの天候で、観覧されたお客様をはじめ、騎馬武者や、執行委員、関係者の方々も、天気に振り回されたことと思います。

後ほど経済部長より詳しい説明をしてもらいますが、今年度の相馬野馬追の総入り込み観覧者数は、13万1,200人となり、昨年と比較して3万3,000人の減となりました。

この原因は、台風12号の接近と、それに伴う宵乗り盆踊りパレードの中止が大きく影響したと思われます。

来年の開催に向けても、相馬野馬追が当地域の震災からの復興の象徴となり、地域の安寧と繁栄を築く礎となるように、陣頭指揮を執って取り組んで参ります。

また、天候の回復を祈りながら相馬野馬追執行に関わられた全ての方々に、滞りなく行事を執行できましたことに、この場をお借りして、心より御礼を申し上げます。

7月7日(土)から17日(火)までの期間、市復興総合計画 後期基本計画策定に向けた初の市民懇談会を、市内10(正しくは9)会場で全12回開催したところ、お忙しい中、多くの市民の方々のご参加をいただきました。

今回の懇談会は、対話を重視し、全ての会場で車座になって懇談を行うとともに、参加されたすべての市民一人ひとりから意見を頂戴することができ、非常に有意義な懇談会となりました。

身近な生活環境の問題や、地域コミュニティの課題、家族の介護に関する不安や、教育・子育てに関する悩みなど、幅広い分野で様々なご意見を伺うことができました。

懇談会で寄せられた声は、貴重な意見として、基本計画を策定する上での参考とさせていただきます。

また、7月21日(土)には、市内の各高校から、生徒さんに集ってもらい市民情報交流センターにて「高校生まちづくりワークショップ」を開催しました。

テーマは「町の将来を考えよう!どんな“まち”をつくりたい?」として、高校生が活発な意見を交わしました。

提言を定められた時間内でまとめ、発表する高校生たちの姿を目の当たりに感銘を受けるとともに、南相馬の誇りだと感じました。

未来を担うこととなる若い世代の意見も、100年のまちづくりに向けた貴重な意見として、参考とさせていただきます。

小高スマートインターチェンジ整備促進に関しては、6月に開催した総決起集会以降、議会や小高商工会と連携しながら精力的に要望活動を重ねています。

今後、新たな動きがあった際には、記者の皆さんへ、いち早く報告したいと考えています。

8月9日(木)には、原町区萱浜地内の福島ロボットテストフィールドにおいて、通信塔の開所に合わせ、公開試験視察会が実施されます。

国からの来賓をはじめ、私も出席させていただきます。記者の皆さんの取材方よろしくお願いたします。

早いもので、来週には盆の入りを迎えます。多くの事業所では、今週末からお盆休みとなるようです。

お盆には、地元を離れた方たちも、帰省することでしょう。

帰省に合わせてご家族、親類、友人同士など顔を合わせていただき、数少ない団らんのを機会を、家族揃って穏やかに、お過ごしいただければと思います。

また、家族が揃った際には、是非、南相馬の将来についてお話しいただき、市へご意見を頂けると、大変嬉しく思います。

猛暑日が、まだまだ続くようです。記者の皆様も暑さで体調を崩さぬよう、どうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

私からの報告は以上です。各部長による報告のあと、皆さんからのご質問をお受けいたします。

【各部からの報告】

市民生活部

- ・平成30年度南相馬こどものつばさについて

健康福祉部

- ・南相馬市看護師等合同就職面接会の開催について

経済部

- ・福島ロボットテストフィールドの一部開所に伴う視察会の開催について
- ・平成30年度相馬野馬追執行実績について

【質疑応答】

質問1：

相馬野馬追の総入込数は、南相馬市内だけの人数でしょうか。今年行列が再開した標葉郷も含めての人数でしょうか。

また、台風の影響で3万3000人減ということですが、昨年もさほど天気は良くなかった記憶がありますが、この差は为什么呢。

さらに救護の状況についてですが、熱中症及び熱中症前兆件数の内訳を教えてください。

回答1：経済部長

総入込数は、28日(土)から30日(月)までの相馬市、南相馬市鹿島区・原町区・小高区の3日間の数となります。標葉郷については、人数に含めていません。

入込数の減は、宵乗り盆踊りパレードが台風の影響によって前もって中止となったのと、台風を警戒して、観光客の出足が伸びなかったことが原因と考えられます。

救護の状況について内訳ですが、熱中症が9人、熱中症前兆件数が10件となりました。

質問 2 :

看護師等合同就職面接会について、いつごろから開催しているのでしょうか。また、面接会の対象となるのはチラシに掲載のとおり看護師と准看護師だけでしょうか。また、市外からの参加も可能でしょうか

回答 2 : 健康福祉部理事

平成 26 年度から、年 2 回程度ずつ開催しています。看護師と准看護師以外の医療資格所持者も対象となります。市外からの参加も見込んでお盆の時期に開催することとしました。

質問 3 :

相馬野馬追の救護の状況において重症者はいましたか。

回答 3 : 経済部長

重症者はいませんでした。すべて軽症者のみです。

質問 4 :

相馬野馬追を終えて、市長の所感をお聞かせください。

回答 4 : 市長

総入込数だけ見ますと台風の影響が大で、相馬野馬追直前には、例年、ひっきりなしだった電話が止んでしまったそうです。実は特別来賓の方々も、災害対応を優先させるということで直前のキャンセルがあったことも事実です。

全体的に見て、相馬野馬追の執行が無事終わったということで、有り難く感じています。震災の復興と野馬追の復興の歩みがオーバーラップし、市民にとって益々身近になってきているのではないかと感じています。

また、今年は標葉郷の行列が再開したとのことで、大変喜ばしく思っております。

質問 5 :

来年の相馬野馬追開催に向けてどんな PR をしていきますか。

回答 5 : 経済部長

今後開催される相馬野馬追執行委員会や、三社五郷騎馬会において協議しながらより効果的な PR の対応を検討して参ります。

質問 6 :

プレミアム商品券に関して、先日記者への情報発表があったところですが、救済措置の進捗を教えてください。

回答 6 : 経済部長

先週、県の事業内容の変更について、了承を得てきたところです。

今週中には、事業再開・帰還促進市プレミアム商品券実行委員会において承認を受ける予定です。

さらに今月中には、該当者の方々へ通知を行い、来月初旬には引き換えできるように対応を進めて参ります。

おわり